

長年の功績を讃えて

はんの木だより

社会福祉大会で職員表彰

2023年4月

第87号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176(62)2761

http://midorikai-gr.or.jp

発行人：盛田薫



(右) 県社会福祉大会で表彰される理事長
(上) 町社会福祉大会被表彰者の赤沼主任
(左) 町社会福祉大会の表彰状



社会福祉法人美土里会

長年にわたる介護・福祉分野の功績が評価。十一月二日、青森市にて青森県社会福祉大会が開催され、二十年以上の長きにわたって介護・福祉分野で活躍された県内の福祉関係者の表彰式が行われました。

美土里会職員も七名が対象となり、盛田薫理事長が県内の被表彰者を代表して登壇。青山祐治青森県副知事から表彰状を手渡されました。

青森県社会福祉大会は一年に一回行われ、介護・福祉分野で活躍された県民のうち特に功績が顕著な者が対象となり表彰されるものです。

受賞した職員はみな緊張の面持ちでしたが、長期にわたり美土里会に勤務していたことが評価されたことで、感慨もひとしおな様子でした。

また、十月二十八日には七戸町社会福祉大会が開催。そちらでも勤続二十年以上の介護・福祉関係者が表彰されることとなり、当法人職員五名が表彰されました。そ

のうち、特別養護老人ホーム美土里荘の赤沼妙子総括介護主任は「まさか表彰されるとは思わずびっくりしました。これからも美土里荘でご利用者のことを第一に考えたケアを実践していきたいと思えます」と感謝の言葉とともに今後の意気込みを語っていました。

今回の受賞は職員の努力はもちろんですが、サービスをご利用されている皆様のご支援・ご協力の賜物でもあると思います。美土里会は今後も、地域に根ざした介護・福祉サービスの提供を心がけ、皆様に選ばれる法人運営に努めて参ります。今後ともご支援のほど、よろしくお願いたします。

青森県社会福祉大会表彰者

- 社会福祉法人美土里会 理事長 盛田 薫
- 特別養護老人ホーム美土里荘 事務長 作田 隆子
- 事務職員 山谷 明子
- 美土里荘デイサービスセンター 主任 松村 郁子
- 介護職員 美土里荘在宅介護支援センター 管理者 手代森 真純
- 美土里荘グループホーム 所長 高橋 史明
- 介護職員 田中 洋子

七戸町社会福祉大会表彰者

- 特別養護老人ホーム美土里荘 総括介護主任 赤沼 妙子
- 介護職員 山口 ミヤ
- 美土里荘デイサービスセンター 主任 天間 由美子
- 美土里荘訪問介護事業所 サービス提供責任者 新堂 喜代子
- 美土里荘グループホーム 主任 山本 純子

受賞された職員の皆さん 本当におめでとうございました！

美土里荘グループホーム 櫛

十一月は、今年の干支の卯（うさぎ）のちぎり絵をご利用者と職員と一緒にいたしました。ご利用者同士や職員と話しながら飲み物を飲んだりしながら、終始和やかな雰囲気で作りました。その他にも塗り絵や計算問題なども提供し、最初は「できない」と話しながらも集中して行う事ができていました。



デイサービスセンター 櫛

新しい年を迎え、デイサービスのご利用者は相も変わらず元気いっぱいです。一月二十二日より新年会を行いました。最初にビンゴゲームを説明し、いざ開始。



一人一人ビンゴマシンの回し、出た数字を発表するたび「あったあった」「私のは全然ない」と大騒ぎ。望みの数字が出るのを耳をそばだてて今か今かと待っていました。十分も経つと、早くも「ビンゴ！」との声が。沢山の景品の中から自分の好きな物を選び「お父さん用に靴下をもうらうね」と自分用でなく旦那様に選んでいる方もいました。温かい雰囲気の中、一週間の新年会が終了しました。お疲れ様でした。

特別養護老人ホーム美土里荘

善意をありがとうございます



十一月十六日、七戸町の松本燃料店の松本慶祐氏より、絵画を寄贈していただきました。まるで女神様を思わせる落ち着いた雰囲気の女性の絵は、ご利用者の心を大いに揺さぶるのではないでしょう。特別養護老人ホーム美土里荘内の本館と南館をつなぐ渡り廊下に展示させていただくこととしました。きっとご利用者・職員の間を楽しませてくれることでしょう。松本様、本当にありがとうございました。

四月三日、町内在住の方々より認知症マフを寄贈していただきました。当日は取りまとめをされていた七戸町地域包括支援センターの職員の方が来荘され、盛田一栄副園長に手渡しました。認知症マフとはカラフルにデザインされた筒型のニット製品。筒の両方から手を入れて、表面や内側のアクセサリーなどを触ってその感覚を楽しむものです。特に認知症の方は言いようがない不安を感じていたり、所構わずそこらへんの物を触ったりします。そこでこのマフの出番。認知症の方が自由に手を出し入れたり、さわって様々な感触を楽しむことで心身の緊張を解きほぐして安心感を与えるとされています。さっそく何名かのご利用者にお渡ししたところ、興味深そうに触ったりする姿が見られていました。マフを作っていたいただいた、神山千賀子様、作田啓子様、向町町内有志の皆様、本当にありがとうございました。



特養で新型コロナクラスター

令和四年十二月、特別養護老人ホーム美土里荘で新型コロナウイルス感染症の大規模発生(クラスター)がありました。コロナ禍となり約三年間、陽性者数はゼロを保っていましたが猛威を振るうウイルスを防ぎ切ることは出来ませんでした。ここで改めてクラスター発生の一連をふり返り、今後の感染症対策に活かしたいと思えます。

十二月七日、利用者二名の陽性が発覚しました。同室者並びに身元引受人に連絡し感染症対策を開始。本館・南館の往来を制限し、食器を捨てにするなどの対応をとりました。八日、全利用者・身元引受人と居宅介護支援事業所にコロナ発生の連絡。上十三保健所にも連絡し指示を仰ぎました。

九日以降、毎日のように新規陽性者が確認されるように。多くは施設内療養となりました。本館は多床室のため、一人が発症すると同室者全員の感染症対策が必要になり対象者が激増。追い打ちをかけるように十一日以降は職員の感染も相次ぎました。

十二日に保健所職員が来荘し、感染症対策状況の確認や助言・指導を受けました。感染者のいる居室をレッドゾーン、防護服を着脱するエリアをイエローゾーン、移動可能なエリアをグリーンゾーンと区分けし、感染対策を徹底しました。しかしその後もご利用者・職員の感染は続き、その都度医療機関への報告・通院・服薬等処置の確認、感染対策居室(ゾーン)の準備。感染者の増加と職員の減少に伴い、誠に不本意でしたが一時は食事回数を二回に減らし、入浴も中止するなどの対応も取らせていただきました。居室に入る度に防護服を全て交換、全利用者に居室内で過ごしていただくなどの感染症対策を続け、行政(県・町)・医療機関・ご家族・保健所と連絡を取り合い情報収集や連携に努め、必要物品を確認・発注し、随時職員が集まり対策を協議・決定したりと慌ただしく過ごす毎日。出勤した職員は勤務時間を延長し、また数日間連続で勤務して対応に当たりました。翌年一月六日に感染者数はゼロになり、ようやく収束を迎えました。

クラスター期間中、実にご利用者四十五名、職員十八名が陽性判定。また誠に残念ながら感染症並びに感染症対策に伴う環境の変化が原因で亡くなる方もいらっしゃいました。改めてお悔やみ申し上げます。恥ずかしながら初めての事態に戸惑い、慣れないことに疲弊する毎日でした。今回の出来事を教訓とし、ご利用者の生活と命を守る施設である事を自覚して、感染対策に努めながらサービスを提供して行くことを改めて決意しました。皆様にも多大なご迷惑・ご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げます。今後ともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。



職員コラム

毎回人気のこのコーナー、今回は特養とデイで活躍する介護職員をご紹介します！

特別養護老人ホーム美土里荘 介護職員

やさき かなえ 矢崎 叶恵



こんにちは、矢崎と申します。高校の介護実習で美土里荘にお世話になり、そのまま惹かれて入社し今年で十四年目になりました。月日が経つのは早いですね。肌も体もピチピチしていた二十代前半なんてあつという間に終わり、結婚して苗字は変わり、出産を機に太り、日々愛おしい息子と言いついては笑って寝ている毎日。若い子たちに負けないよう美意識を持つようになりました(笑)。

私の人生は、名前の通り何かと恵まれているように思います。職場では頼れる上司と心強い同期・後輩の中、日々刺激を貰いここまで社会人として、介護職員として大きくさせていただきました。大変なこともあります。美土里荘はあちこちから笑いが聞こえる良い所だと思っています。プライベートでも家族・親友に恵まれ、支えてもらい頑張っています！

ご利用者の笑顔が見られて、何気ない「ありがとう」の一言に毎日救われています。まだまだ学ぶ事ばかりで反省の毎日ではありますが、これからもご利用者・職員から刺激をいただき、日々頑張っていきたいと思っています。

美土里荘デイサービスセンター 主任 介護職員 甲地 郁子



美土里荘に勤めて八年になります。今でも面接の様子を鮮明に覚えています。

この三年コロナ禍で行事が全くありませんでしたが、今年がご利用者と出かける機会が増えると思いますので楽しみです。仕事は職員の皆さんに助けられながら頑張っています。ご利用者の笑顔が何より嬉しくやり甲斐を感じています。

三月に初孫が生まれておばあちゃんになりました。孫の顔を見ているとほっこりした気持ちになり癒されます。今後ともよろしく申し上げます。

編集後記

年末年始にかけてクラスターが発生し、ご利用者・職員ともにお祝い気分は全くなく、慌ただしい時間を過ごしました。現在は落ち着いていますが、あのような想いは二度とゴメンです。五月の連休明けには新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザ並の五類に引き下げられる見通しで、美土里会でも面会・外出などの緩和を徐々に行う予定です。コロナ禍前の当たり前の日常を早く取り戻したいと切に願います。(一)